

一般財団法人 静岡市動物園協会の概要

1. 設立

昭和40年、市制80周年記念事業として市立動物園建設構想が発表されました。その反響は大きく、市内児童生徒の「一円募金」をはじめとする多くの市民からの寄附が寄せられ、昭和44年8月1日、総工費7億5,500万円をかけ、面積6.6haの静岡市立日本平動物園が完成しました。

昭和44年3月20日、日本平動物園のオープンに先駆け、動物の飼育・展示、繁殖を担う動物園と役割分担し、動物園関係事業の後援、静岡市からの委託事業（入園料、駐車料金の徴収及び園内清掃業務等）及び来園者の便益を図る事業（売店、レストハウスの運営、ベビーカーの貸出し等）を担うため、静岡市の全額出資により財団法人 静岡市動物園協会が設立されました。

発足後40数年が経過し、公益法人を取り巻く環境が大きく変化する中、国における公益法人制度改革関連3法が施行され、平成24年2月1日、非営利型の一般財団法人 静岡市動物園協会として再出発しました。

2. 事業の内容

一般財団法人 静岡市動物園協会は、設立以来、日本平動物園を活動のフィールドとして、来園されるお客様のために以下の事業に取り組んでいます。

(1) 公益事業への取り組み

動物愛護の心を育むとともに、命の大切さを学ぶ情報教育、絶滅危惧種から環境破壊を考える環境教育、動物園の役割の一つである「レクリエーションの場」として、楽しく一日を過ごせるためのイベント、動物園の持つ資源・特質を生かし、社会的・公益的役割を果たすために、自己の持つ知識・経験や時間を社会に還元しようとするボランティアの育成と活動の場、動物園の安定した集客確保のための広報宣伝事業など、各種事業を実施しています。

(2) 受託事業への取り組み

日本平動物園の入園者に対する売改札、駐車場の運営及び園内清掃業務、遊戯施設の運営などを静岡市からの委託により実施しています。

私たち職員は、これら委託事業を実施するにあたり、来園される皆さんが最初に「動物園」と接するスタッフ・場所であることを心に刻み、全職員が「おもてなしの心」を大切に従事しています。

なお、これら委託事業は、個別には民間企業等への委託が可能なものと考えられますが、お客様へ継続的に安定したサービスを提供することを踏まえた場合、事業の質を維持すること、繁忙時における業務ごとの情報・資源の共有化、加えて災害時における緊急体制を速やかに整えるという観点から、当協会ではこれらの業務は一体不可分なものであると捉え、来園者が安全で快適に動物園を利用することができるよう業務を遂行しています。

(3)収益事業への取組み

日本平動物園の楽しみ方は様々です。

当協会では、来園された方々に対し、物販及び飲食等のサービスを提供し、「見る楽しみ」、「買う楽しみ」、「食べる楽しみ」を実感していただけるよう、オリジナル商品の開発・提供にも取り組んでいます。

園内には、お食事のできるレストハウスのほか、軽食やグッズなどのお土産を買うことができる売店を4箇所（店舗）備えており、居心地が良く、また行ってみたくなる“楽しい動物園”を目指しています。

この収益事業によって得られた利益は、公益事業の財源に充当しています。